

1. 件 名：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構との審査の進め方に関する面談

2. 日 時：令和2年8月25日（火）9：00～9：45

3. 場 所：原子力規制庁 10階南会議室（テレビ会議）

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 研究炉等審査部門

大島安全規制管理官（研究炉等審査担当） 来住補佐、森光係長

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

安全・核セキュリティ統括部

奥田部長 他2名

5. 要 旨

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（以下「機構」という。）から、機構の有する施設に係る審査の進め方について相談があった。

資料について、規制庁から次の質問をした。

HTTRの設工認の優先順位の考え方を教えていただきたい。

STACYの設工認（その4）については、今後の全体スケジュールに影響があるため、状況を確認して報告していただきたい。

大洗研究所の1F燃料デブリ受入れに係る状況を教えていただきたい。

これらについて、機構からは次のとおり回答があった。

- ・ について、HTTRの設工認については、実際の工事を伴う（その1）や（その2）が（その3）に比べて優先度が高い。
- ・ 及び については、別途確認し回答する。

また、規制庁から次のとおり指摘をし、機構からは了解した旨回答があった。

- ・ 東海再処理施設の廃止措置計画における有効性評価については、監視チーム会合で中身のある議論ができるよう、適切に準備いただきたい。
- ・ JMTTRの冷却塔の更新については、8/24の審査会合での指摘のとおり、前倒しできるよう検討していただきたい。

6. 事業者配布資料

資料1 原子力規制庁研究炉等審査部門等における JAEA 許認可審査上位案件